

PARIS

One step ahead!



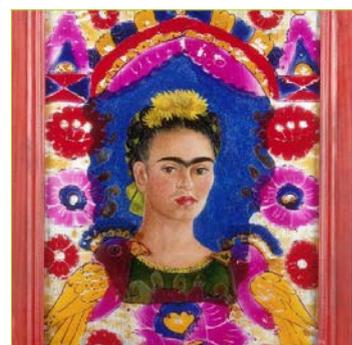
PARIS
Convention
and Visitors Bureau

(2013)

2013年もパリは一步先を進みます。そして2020年代の新しいパリの顔も少しずつ見えてきました。新たな施設のオープン、有名観光地のリニューアル、イベントなど文化関連のニュースは、パリに多くの人を引きつける最大の理由でしょう。美術館、おしゃれなバー、画廊、パラス、デザインホテル、歴史的建造物、豪華なレストランなど、パリはかつてなく注目を集め、パリジャンだけでなく観光客にもサプライズを与え続けています。パリではエネルギーが尽きることがないので。

大人気の観光都市パリ。 ヨーロッパの中央に位置する、世界有数の都市パリは、2900万近くの人々が訪れる人気の観光地です。変化し、つねに革新的な最先端の街のひとつに数えられる力。この力が、パリを非常に魅力的な場所に行っているのです。ますます速く便利になった超高速列車TGVでヨーロッパの主要都市と結ばれており、他の地域へは、パリ・シャルル・ド・ゴールParis-Charles-de-Gaulle空港などの各空港からアクセスできます。パリにはもはや国境はないようです！

イベントの生まれる街パリ。 パリでは、一年を通じて、あらゆる文化領域にわたる300近いアートイベントが毎日開催されています。ラ・ヌイ・ブランシュla Nuit Blancheや、街を海水浴場に変えてしまう夏のイベント、パリ・プラージュParis-Plagesなど、パリで生まれて、ほかの大都市でも行われるようになったものもあります。これらのイベントに加えて、典型的なフランスのライフスタイルをアピールする大イベントもあります。ショッピング・バイ・パリShopping by Parisはパリでのバーゲンやショッピングに関連したイベント。パリ・イルミネ・パリParis Illumine Parisでは年末の時期、パリのあらゆる地区がライトアップされます。それからフェット・ドゥ・ラ・ミュージックla Fête de la Musiqueも忘れてはいけません。2013年には、大規模な展覧会が文化シーンを賑わせます。クラシックなものとしては、マルク・シャガール、フリーダ・カーロ、ウジェーヌ・ブーダンらの展覧会が予定されています。現代アートファンは2つの大きな国際展示会であるフィアックFiac (国際コンテンポラリーアートフェア) とアール・パリ Art Parisへどうぞ。ほかにも「キース・ヘリング展」や「シュールレアリズムとオブジェ展」といった一流アーティストの展覧会も開催されます。デザイン関連では、メゾン・エ・オブジェMaison & Objet、デザイン蚤の市Puces du Design、デザイナーズ・デイ Designer's Daysさらにパリ・デザイン・ウィークParis Design Weekとイベントが続きます。美食の世界も、フーディングFooding やオムニヴォアーOmnivoreなどのグルメ関連イベント、「トウス・オ・レストランTous au restaurant(みんなでレストランへ行こう)」ともりだくさん。スポーツもローラン・ギャロス・スタジアムでのテニスの全仏オープン、ツール・ド・フランスのゴール、競馬のアメリカ賞、パリ・マラソン、そして2013年は卓球の世界大会も開かれ、わくわくするイベントが目白押しです。



2011年、2012年に、パリではゲテ・リリックGaîté Lyrique、モード・デザインセンターCité de la Mode et du designなどの新しい施設のオープン、そしてパレ・ド・トーキョーPalais de Tokyoの増築工事など文化関連のニュースが続きました。久しく待たれていたピカソ美術館musée Picassoとモード博物館(ガリエラ宮)musée de la mode Gallieraの再開を秋にひかえ、さらに映画関連施設のジェローム・セドゥー財団-パテFondation Jérôme Seydoux - Pathé のオープンも予定されている2013年。芸術であふれかえる1年になりそうです！パリには数多くの多様なイベントホールがあり、プロ向けイベント業者からも高く評価されています。パリは押しも押されぬビジネストリップの中心地で、展示会、会議だけでなく企業のイベントも数多く行われており、各界のプロフェッショナルたちが1800万人も訪れているのです。



パリは人を引きつける街です。 パリはそのライススタイルを日々新しく塗り替えています。ホテル業界では、全体の収容客数、バラエティーに富んだ施設の数とも増え続けています。5つ星とパラスという格付けが導入されたことでフランスのホテルが世界規準で再評価され、すでにパリの評判を高めていたホテルの質の高いサービスの価値が認められる形となりました。またシャングリ・ラShangri-La、マンダリン・オリエンタルMandarin Oriental、ブッダバーホテル Buddha-bar hotel といった、外国、とりわけアジア系の大きなホテル・グループなどの進出を見ても、パリの魅力の大きさがわかります。またステラ・カアンテがデザインしたホテル・オリジナル・パリhôtel Original Paris、オラ・イトOra Ito によるl'hôtel O、グラン・ホテル・デュ・パレ・ロワイヤルGrand hôtel du Palais Royal、新しくなったブランス・ドゥ・ガールPrince de Gallesなどが革新的で驚くようなコンセプトを導入し、今までとはちがったホテルの滞在を提案しています。

食の分野でも、シェフたちは創造性を追求し、新店舗をひらき料理を提供しています。ひらめきに満ちた料理が楽しめる新しいお店をいくつかご紹介しましょう。ピエール・ダレPierre Daret のボードレール Baudelaire、クリストファー・アッシュ Christopher Hache のアンバサドゥールAmbassadeurs、そのほかアントワヌAntoine、ラ・フルシェット・デュ・ブランタン La Fourchette du Printemps、ピルエットPirouette、ローズヴァルRosevalなどのレストランがおおすすめです。「ビストロノミーbistronomie」は、ビストロの精神と美食の絶妙なコラボで、こちらも人気上昇中です。ダニエル・ローズDaniel Rose のスプリングSpring、イナキ・エズピタルテInaki Aizpitarte のドファンDauphin、スヴェン・シャルティエSven Chartier のサチュルヌSaturneなど才能豊かな若いシェフがこのブームを支えています。彼らはみな、本物の味と地元でとれる素材のエキスパートなのです。2013年に注目される有名シェフの店としては、アンヌーソフィー・ピックAnne-Sophie Picが開いたパリの第1号店、ヤニック・アレノYannick Allénoのル・テロワール・パリジャンLe terroir parisien、フローラ・ミクラFlora Mikulaのオーベルジュ・フローラAuberge Flora、そしてギ・サヴォワGuy Savoyが腕を振るう造幣局Hôtel de la monnaieのレストランなどがあります。そのほか、魅力的なストリート・フードや1つの食品をテーマにしたレストランなど、美味しいスポットがいっぱいです！



パリは今までも、そしてこれからもファッション、高級品、美容健康とショッピングの中心地です！ 冬と夏に行われるバーゲンは、業界のメインイベント。また一年を通じて、店舗の開店や臨機応変なイベントで、つねに新しいものを求めるお客さまを引きつけています。また、モンマルトルMontmartre、マレMarais、シャンゼリゼChamps-Élyséesといった7カ所の観光地では日曜日でもショッピングが楽しめるようになっています。また世界的に有名な高級ブランドは、みなパリを愛しています。Balenciaga、Zadig、Voltaire、Isabel Marantなど、高級ブランドはデザイン性が高く大胆な趣向を凝らした店舗を開いています。パリのどの地区にもぎやかでバラエティーに富んだお店が並んでいるので、クリエイターファンからヴィンテージファッションファンまで、さまざまな魅力を発信します。アウトレットセンターも、新店舗がオープンしたり売り場面積を拡大し、つねに新しい商品を生産し続けています。



夜、パリはさらににぎやかでアットホームな雰囲気にも包まれます。パリのスタイルは、さまざまなジャンルや時代をとりまぜる、というもので、この街ならどんな要望にも応えられるのです。リニューアルしたラペルーズLapérouseのバー、最近ではTitty TwisterやWanderlustも注目です。

クリエイティブ・ツーリズムでパリが生まれ変わる。 パリの美術館・博物館、歴史的建造物 はつねに入場者数が増加しており、毎年7000万人以上がおとずれています。企画展も人気で、1000万人もしくはそれ以上の入場者を記録しています。2012年、クリエイティブ・ツーリズムという新しいコンセプト（これは文化、参加型、持続型の観光のひとつの柱です）で、パリはまたワンステップ上へ進みました。インターネットサイトの creativeparis.infoでは、パリでのクリエイティブ・ツーリズムのオファーがリストアップされています。

旅行者はここからきわめてバラエティーに富んだプログラムの情報を得ることができます。そしてアート、ファッション、造園、料理などの分野から好きなものを選べばよいのです。

アーティストとの交流、アートやクリエイションの体験、アフリカダンスや生け花の教室などが予定されています。モットーはただ1つ「忘れられない旅をなさってください。あなたのクリエイティブな情熱を發揮しながらパリを楽しんで下さい」。



エコレスポンシブルを大切にする街パリ。 460もの公園や庭園、開設100年を迎えながらきわめて便利で使いやすい16路線の地下鉄など、パリにはエコロジーのあらゆる切り札がそろっています。バスレーンが整備され、交通はスムーズになりました。またパリ南部で導入したトラムウェイは好評で、ヴァンセンヌVincennes門からラ・シャペルLa Chapelle門まで、そして近隣地域へ路線が拡大。それからもちろん、誰でも自由に使えるレンタサイクルサービスのヴェリブVélib'も多くの利用者を獲得しています。ヴェリブのアイデアから生まれた、電気自動車のカーシェアリングシステム、オートリブAutolib'も2011年に運用が始まりました。パリ市は有名観光スポットを結ぶ水上バス、バトービュスBatobusのネットワークも整備しました。ホテル業界も環境保護に力を入れています。ラ・クレ・ヴェルトLa Clef VerteやエコラベルÉcolabel、グリーングローブGreen Globeといったエコロジーのラベル認証を受けたパリのホテルがますます増えています。

変化する街パリ。 パリは毎日少しずつ、境界線を外に広げているのです。まずバーチャルな面では、パリには公園・庭園、カフェ、文化施設などで使えるWi-fiのネットワークがあり、世界中とつながることができます。地理的な面でいうと、パリは隣接する地域を開発し近隣コミューンとのつながりを深めています。デファンスDéfense、ヴェルサイユVersailles、マルヌ・ラ・ヴァレーMarne-la-Valléeなどは、外環道の外に広がったパリにすでに同化されていますが、ほかの地区の同化も進んでいます。パリ北東部は、18区と19区をサン・ドニSaint-Denis とオベルヴィリエAubervilliersの方へ広げます。パリ東部は、新しい境界線をリラ門よりも外に描こうとしています。パリでは野心的な都市計画や建築も見どころで、目下変身中のレ・アル地区のカノペ、秋に完成するボーグルネルBeaugrenelle地区のセヌ川沿いの新しい街並み、トゥール・ファールやトライアングル・タワーといった新しい高層建築が作られています。こうしてパリは、未来の世界を作る都市としてのリーダー的な地位を確固としたものに行っているのです。

文化関連も負けてはいません。2014-2015年には多くの野心的なプロジェクトが完成予定です。例えば順化園jardin d'Acclimatation内にお目見えするルイ・ヴィトン博物館。設計はフランク・O・ゲーリーFrank O. Gehryです。ほかにもラ・ヴィレット公園parc de la Villette内にできるジャン・ヌーヴェルJean Nouvel設計のパリ管弦楽団のシンフォニーホールなどがあります。いっぽうスガンSeguin 島の再開発とヴァレ・ドゥ・ラ・キュルチュールVallée de la culture計画も動き出しました。広さ30 000㎡の造形芸術センターがまもなくオープンし、約20の画廊、大ホール内の展示スペース、3つの販売会場、会議場などが入る予定です。パリではすでに目につき始めた変化や進化をしっかりと追いかける、野心に満ちた未来の姿が見えるようです…

連絡先

+33 (0) 1 49 52 53 27 – press@parisinfo.com
より詳しい情報は: <http://press.parisinfo.com>
フォトライブラリー: <http://pro.photos.parisinfo.com/en/>

Photos: PCVB/Marc Bertrand, Amélie Dupont, Jocelyne Genri, D. Lefranc, Claire Pignol, Stéphanie Rivoal, Daniel Thierry, DR.

データで見るパリ

> パリの観光に関するデータ

- 2900万人: 2012年に世界中から訪れた観光客の数
- 2つの飛行場: ヨーロッパ屈指のハブ空港。6つの駅は外国の都市とつながっている
- 2時間15分: パリ-ロンドン間
- 20 600台: 自由に使えるレンタサイクルサービス「ヴェリブ」の台数
- 80000室以上: ホテルの客室数
- 297: メトロの駅の数。13分: パリを横断するのにかかる時間





> パリを選ぶにはこんな理由も

● 物価の安さ

サンドイッチ：5 € / クロワッサン：0,90 €
コーヒー：1 € / セットメニュー：15 €
メトロの切符：1,70 €
14の美術館・博物館が入場無料

● 豊かな文化遺産

37の橋、200の教会
10 100トン：エッフェル塔に使われている鉄鋼の量
465の公園や庭園
2 000種の動物
6 500年の歴史

● 充実した文化施設

142の美術館・博物館
120：チュイルリー公園の彫刻の数
36 000：ルーヴル美術館で展示されている作品の数
200の教会
1360万人がノートルダム寺院を訪れる

● ショッピング

17 500軒のショップ、4つのデパート
ヨーロッパ域外からの観光客には12 %の免税
年に69日間バーゲンが行われている

● イベント

一日に300以上のイベントが開催されている
ヌイ・ブランシュでは130万人が街に出る
パリ・プラーージュでは1 500トンの砂が使われる

● 多種多様な娯楽

パリのオペラ座では450もの上演が行われる
パリのキャバレーで一晩に開けられるシャンパンは、2300本
10 000 軒のバー、レストラン
毎日500本の映画が上映されている
毎日100のクルージングが出発する

● アート、ファッション

25 000人のアーティストがパリで活躍している
2012年には988カ所で映画が撮影された
モードの発表期間中には、100か国から15 000人のクリエイターや制作者
が集まる。

● ビジネスの会合

2011年には792 000人がパリの会議に参加
2011年には995以上の会議が行われた
15の会議場、展示場
展示スペースは600 000 m²以上

パリ観光・会議局

世界最大の観光都市であるパリは、古い文化遺産だけでなく、流行の最先端をとりいれるスタイルゆえに、多くの人々を惹きつけます。パリ観光・会議局は、パリ観光に役立つ情報をご提供いたします。



> データ

- 3つの主要な任務:観光客を迎えること、情報を与えること、観光の促進
- 596 000 人以上が2012年に通年営業の観光局に来場
- 142 000人近くが2012年に期間営業の観光局(アンバサダーと呼ばれるスタッフが対応)に来場
- パリの中心部、ルーヴル美術館とオペラ座のあいだに、本局があります。建物は有名な建築家Christian Biecherの設計です。25, rue des Pyramides, Paris 1er
- 5つの出張所でも観光客を迎えています。リヨン駅、北駅、アンヴェール駅、ポルト・ドゥ・ヴェルサイユ見本市会場、東駅
- 2012年には1400万近いアクセスがインターネット・サイト parisinfo.com

にありました

- サイトは12 カ国語で書かれています
4つの主要サイトは、フランス語、英語、スペイン語、ドイツ語
8のミニサイトは、イタリア語、ポルトガル語、オランダ語、ロシア語、中国語、日本語、簡体中国語、ハングル語
- 140万部の無料マップガイド(10カ国語)が利用できる
- 400 000 部。Paris est à vous !という無料ガイドブック。英語版とフランス語版がある
- ショッピングガイド(フランス語/英語)。ファッションファンのタイプ別に5つのコース(セレクト、トレンド、クリエイティブ、ボボ・シック、エシカル・エスニック)が紹介されている

> 旅行者、プレス向けツール

- フランス語、英語、スペイン語、ドイツ語によるフォトライブラリー 。<http://pro.photos.parisinfo.com/en/>
パリの多様な魅力を伝える3 000枚の高画質写真をそろえております。メディアの記事やパンフレットにご利用下さい。
- 数カ国語で書かれたプレスリリース
- インフォメーション資料「パリ2013」:
フランス語、英語による資料4種「芸術と文化 Arts et culture」
多国語による資料5種「ライフスタイル Art de vivre」
シーズンごとのパリ情報Paris en toutes saisons」3 種。フランス語、英語
フランス語・英語による補足資料« Sur mesure » 6種
- フランス語・英語によるマンスリー・ニュースレター
「新規オープン情報」、「トレンド」、「ズームアップ」、「わたしが見たパリ」の4項目から構成
- パリのポスター(60x80cm)6種類

